



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### 決勝レポート

**2024/10/12 Rd-6 FUJI SPEEDWAY**

天候：晴れ 気温：23℃ 出走台数：21台

土曜日に Rd6、日曜日に Rd7、の 2 レース制で開催される第 6 大会富士スピードウェイ。現在 DOCOMO TEAM DANDELION RACING はチームランキング 2 位、牧野選手はドライバーランキング 2 位と、タイトル争いのためには 1 ポイントも無駄にできず、ドライバー、チーム、そして観客にとっても、途切れることない緊迫感の 2 日間になる。晴天で気温 23 度の絶好の観戦日和。ストレートを時折強く向かい風が吹く中、41 週のレースはスタートを迎えた。

フロントロウ 2 番手スタートの太田選手は、スタートこそ悪くはなかったが、1 コーナーの位置取り悪くコース外に押し出される形で 4 ポジションダウンし 6 番手。

エンジントール車両をうまくかわした牧野選手は 1 ポジションアップの 8 番手でオープニングラップを周回した。

チームはピットストップウィンドウがオープンする 10 周目時点で 5 番手を走る太田選手をピットに呼び、5 秒台の素晴らしピットワークでコースへ。太田選手はタイヤ交換グループの 2 番手でペースを上げ後半につなげる。

20 周目、牧野選手は膠着状態のトップ 5 台の中で初めに動きピットイン。全車ピット作業を終えた時点で、太田選手 3 番手、牧野選手 6 番手。

フレッシュタイヤを生かした牧野選手は、野尻選手、太田選手をオーバーテイクし、3 番手走行の小林選手に肉薄するも、僅かに届かず 4 位フィニッシュ。

対して太田選手は、レース残り 10 周頃からタイヤのグリップ不足によりペースを維持できず 9 位までポジションを落としてレースを終える事になった。

#### 5：牧野任祐 選手 4 位

予選の失敗をレースで最低限は取り戻せたかなと思います。

レースペースは、特に後半とても良かったので、明日につながるポジティブなレースになりました。タイトルも意識していますし、明日の予選と決勝をしっかりと組み立てて、最終 JAF グランプリ鈴鹿に繋げられるよう、チームとともに準備して臨みます。

#### 6：太田格之進 選手 9 位

スタートの混乱もありましたが、思いのほかレースペースを上げることが出来ず、特にリアのグリップ不足に悩まされ、大きくポジションを落とす結果になってしまいました。

明日に向けてチームとデータを解析し、この部分を改善しないと厳しい結果になるでしょう。車も自分自身もアジャストして、予選 決勝レースと気持ちを切り替えていいレースをしたいです。